

当健康保険組合の平成26年度事業計画と予算が、2月13日に開催された組合会において可決・承認されました。みなさんと事業所(会社)から納めていただく保険料、高齢者医療制度への負担金および当健康保健組合の保健事業の説明を交えながら、予算の概要についてお知らせします。

## + 平成26年度も保険料率を引き上げます +

厳しい財政状況のもと、収入を確保するため、4年連続となりますが、平成26年度(平成26年3月分より適用)から1000分の2引き上げて、1000分の74にすることとなりました。

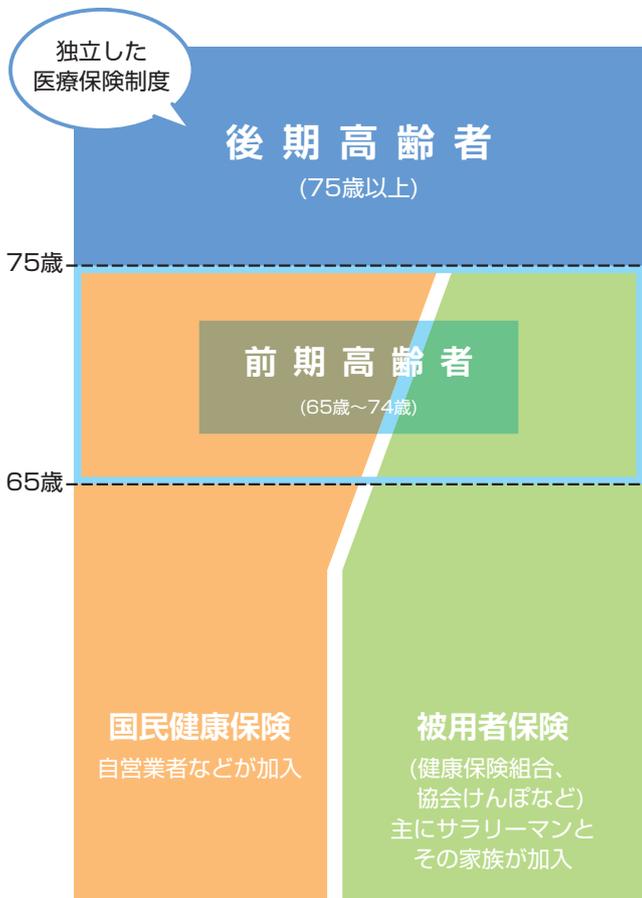
保険料率引き上げの主要な要因は、高齢者医療制度を支える「前期高齢者納付金」「後期高齢者支援金」を国に納めているため、これらで保険料収入の約6割を占め、当健保組合の財政を圧迫しています。高齢者医療制度のしくみと財源の流れをご説明します。

### 高齢者医療制度とは

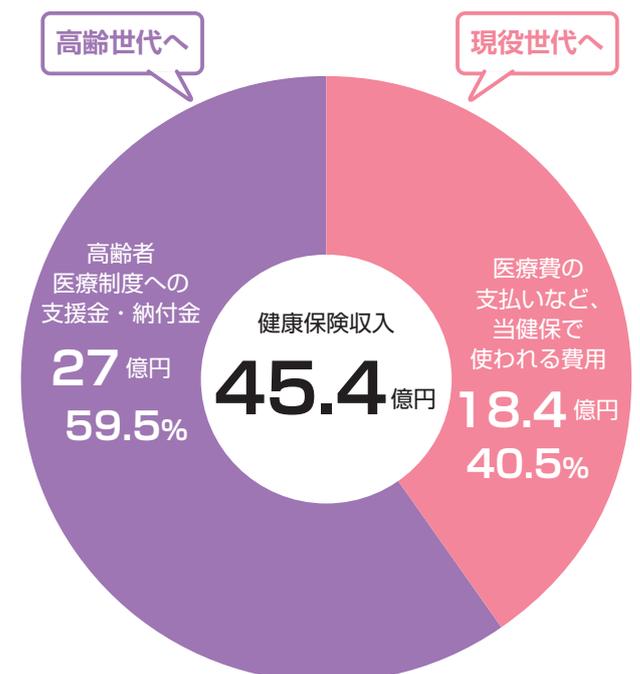
平成20年4月からスタートした高齢者医療制度は、65歳～74歳の「前期高齢者」と75歳以上の「後期高齢者」を対象として運営されています。

当健保組合の平成26年度健康保険収入とその使い道では、59.5%が高齢者医療制度への支援金・納付金に使われ、残り40.5%が医療費の支払いなど現役世代に使われています。

### ■わが国の医療保険制度のイメージ



### ■当健保組合の平成26年度健康保険収入とその使い道



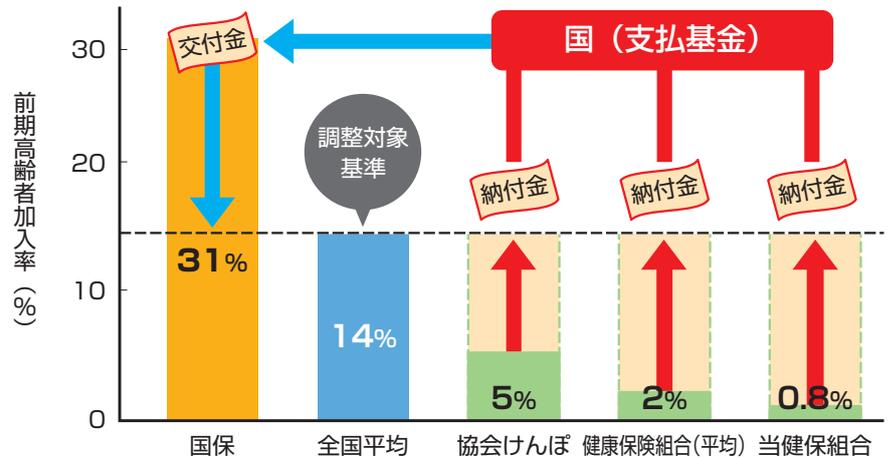
## 前期高齢者納付金のしくみ (65歳～74歳)

定年退職すると多くの方は、国民健康保険に加入することになります。このため、国保における前期高齢者の医療費の負担は他の医療保険に比べて大きくなります。そこで、前期高齢者加入率の全国平均に応じて負担を調整するしくみが導入されています。

当健保組合の前期高齢者納付金の推移をみると当健保組合に加入する前期高齢者の医療費がかさんだため、平成26年度予算の前期高齢者納付金は昨年度に比べ232%増となっています。

高齢者(65～74歳の方)に元気で暮らしていただき医療費を減らすことが重要です。医療機関の窓口での支払を月に1,000円減らすと納付金を約9,000万円減らすことができます。ジェネリック医薬品への切替、訪問指導などをご利用ください。

### ■前期高齢者医療制度の財政調整の概要



### ■当健保組合の前期高齢者納付金の推移



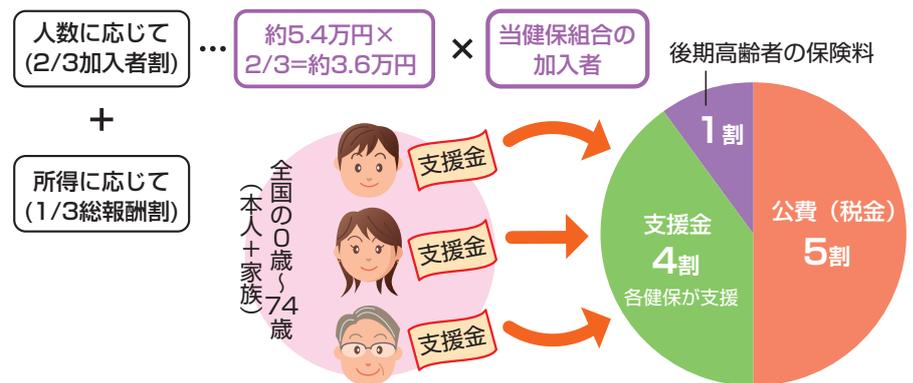
## 後期高齢者支援金のしくみ (75歳以上)

75歳以上の方が加入する後期高齢者医療制度の財源の4割は、各健保等が拠出する支援金で賄われています。支援金には3分の2が加入人数(被保険者+被扶養者)に応じて算出され、残り3分の1を給与で算出する総報酬割が導入されています。

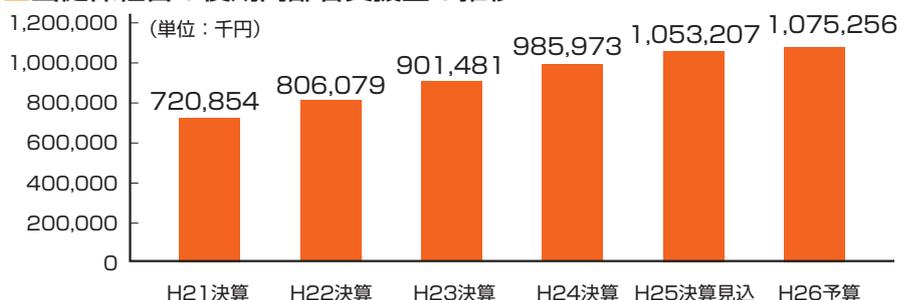
支援金の算出には被扶養者が関わってきます。就職や結婚などで被扶養者でなくなったにも関わらず、届出をしないまましていると当健保組合は不要な支出をすることになります。

### ■後期高齢者医療制度の財源構成の概要

#### 当健保組合の支援金額



### ■当健保組合の後期高齢者支援金の推移



#### 被扶養者に該当しなくなったら届出を

被扶養者に該当しなくなったら、(株)大塚商会の方は会社内の電子承認システム「扶養家族変更届」を提出してください。(株)大塚商会以外の事業所の方は、「健康保険 被扶養者異動届(削除)」と脱退する家族の保険証を提出してください。

# 保健事業を利用して、健康を増進しましょう！

健康づくりをサポートする**当組合独自の事業**です。くわしくは当組合ホームページをご覧ください。

## 健診を受けましょう！

年に1回定期的な健康チェックを必ず受けてください。健康保持増進のためにできることを考えるきっかけに。よりよい保健指導を行うためには、年内に受診をすませていただくことがなにより重要です。

健康をキープアップするための第一歩です。ぜひ、みなさんの協力をお願いします！



### 健診事業

- 定期健診 **本** 35歳未満対象
- 人間ドック **本** **家** 35歳以上対象
- 主婦健診 **家** 35歳以上対象  
(※主婦健診、人間ドックのいずれかを選択)

### 各種補助制度

- 婦人科検診 **本** **家** 35歳以上対象  
人間ドック・主婦健診と同時に受けることができます。
- 子宮頸がん **本** 35歳未満対象
- 大腸内視鏡検査 **本** **家** 50歳・55歳・60歳対象
- インフルエンザ予防 **本** **家**

### 保健指導・健康相談

- 生活習慣指導面談 **本** **家**
- 特定保健指導（メタボ面談） **本** **家**
- ファミリー健康相談 **本** **家**

## 健康を保持・増進しましょう！

- スポーツ施設利用補助 **本** **家**
- 禁煙マラソン（3ヵ月） **本**
- 禁煙セルフチャレンジ（6ヵ月） **本**



- あるけあるけ運動 **本** **家**
- 大宮運動場 **本** **家**
- 栄養セミナー **家**
- ベストウェイトプロジェクト **本**
- 高齢者訪問事業 **家**



※ **本** …被保険者向け **家** …被扶養者向け

## 賢く受診して、医療費を節約しましょう！

- かかりつけの医師や薬局を持ちましょう。重複受診（ハシゴ受診）などを避けることができます。



- 子どもの急な病気には、小児救急電話相談（#8000）を活用しましょう。



- 緊急時以外は、診療時間外の受診を避けて、平日の時間内に受診しましょう。



- 医療費節約の切り札、ジェネリック医薬品（新薬と同じ効果で価格が安い後発医薬品）を検討しましょう。

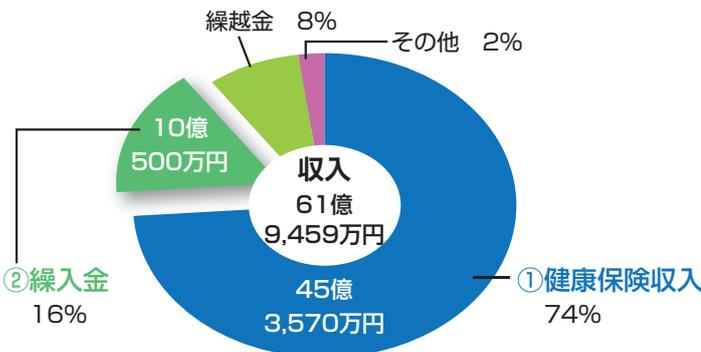
# 平成26年度予算の概要

## ● 一般勘定

### ↓収入

科目	予算額 (単位：千円)	被保険者1人当たり額 (単位：円)
①健康保険収入	4,535,704	521,345
調整保険料収入	86,924	9,991
繰越金	500,000	57,471
②繰入金	1,005,000	115,517
国庫補助金収入	3,004	345
特定健康診査等事業収入	17,864	2,053
財政調整事業交付金	20,001	2,299
雑収入	26,093	2,999
収入合計	6,194,590	712,022
経常収入合計	4,587,659	527,317
経常収支	-1,383,215	-158,990

<b>予算基礎数値</b>	平均標準報酬月額	434,100円
被保険者数	8,700人	健康保険料率 1000分の74



#### ①健康保険収入

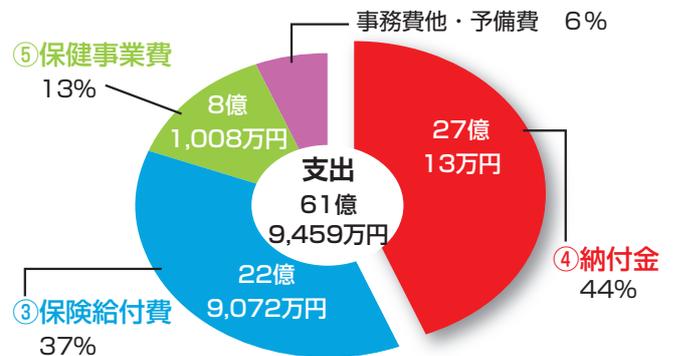
組合員と会社から納めていただく保険料で支出をまかなうのが本来です。

#### ②繰入金

積立金約10億円の繰り入れによって収支のバランスをとっています。

### ↑支出

科目	予算額 (単位：千円)	被保険者1人当たり額 (単位：円)
事務費	161,639	18,579
③保険給付費	2,290,720	263,301
④納付金	2,700,129	310,360
⑤保健事業費	810,079	93,113
還付金	2,300	264
営繕費	2,100	241
財政調整事業拠出金	86,924	9,991
連合会費	2,305	265
雑支出	4,002	460
予備費	134,392	15,447
支出合計	6,194,590	712,022
経常支出合計	5,970,874	686,307



#### ③保険給付費

病気やけがをした時の医療費・手当金として使われます。

#### ④納付金

高齢者医療制度への拠出金となります。多くの組合が赤字となっている原因です。

#### ⑤保健事業費

健診・保健指導、各種補助制度、保養所利用補助金等健康づくりに使われます。

## ● 介護勘定

### ● 介護保険料率は12‰で据え置きに

介護保険は健保組合が国に代わって保険料を徴収し、介護納付金として当健保組合に割り当てられた額を国へ納付することになっています。

平成26年度は、現行の保険料で賅えるため、介護保険料率は平成25年度と同率の1000分の12（被保険者と事業主で折半負担）としました。介護勘定予算は総額で4億4,729万円、介護納付金は4億456万円を見込みました。

### ↓収入

科目	予算額 (単位：千円)	介護保険第2号被保険者たる被保険者等1人当たり額 (単位：円)
介護保険収入	447,283	98,218
雑収入	2	—
収入合計	447,285	98,218

### ↑支出

科目	予算額 (単位：千円)	介護保険第2号被保険者たる被保険者等1人当たり額 (単位：円)
介護納付金	404,564	88,837
介護保険料還付金	600	132
積立金	42,121	9,249
支出合計	447,285	98,218